

身の代金四萬圓の おスツ分けは牛肉

噂丈でも景氣が好いご
鈴木氏の皮肉な恐悦振り

四萬圓の身の代金で前縣議
鈴木辰三郎氏が足輕黨に走
つた等とトテツもない噂の
種をまき此事が動機となつ
て石城の政友派が分離する
と誠しやかに

宣傳す るものがあ
る、眞偽何れにありとする
もチヨイト景氣の好い話し
である、夫れはさうとして
二三日前の晩の事、鈴木前
縣議を中心とする熱懇者五
六名が石川亭に會合して牛
鍋をツッキ合つた席上の一
人が「近頃景氣の好い噂で
持ち切りなんだが

俺達も 四萬圓のお
スツ分けに預り度いもんだ
が如何がなものだらう」と
持ち掛けたものだ、鈴木氏
は例に依つて例の如く突き
出した腹を帯の上から撫で
ながら「是れがおスツ分け
だ遠慮なく食べ給へ」と牛肉
の皿を指さした、四萬圓の
おスツ分けだけに金のかた
まりの様に

固い牛 肉だつたそ
うだが、其時の鈴木氏の話
しに「僕が四萬圓貰つて來
たとは有難い話だ、第一信
用が違ふから、此不景氣
に四萬圓の信用は仲々どう
して大變なものだよ」との
事であつたさうだ、先づ此
邊の消息から察するにウツ
カリ四萬圓は當てにならぬ

珍聞奇聞

◆炬燵で爆発す 岡山縣
川上郡中村旅人宿の炬燵で
坑夫田村儀重(七)が飲酒中
懐ろの爆藥破裂し全身四散
◆老親を捨てる 牛込區
印刷工鷹野徳次(三七)妻みさ
き(三七)の兩名は六十六の實
父を追ひ出して告發された
◆成田の偽紙幣 千葉縣
成田町では去る四日の節分
以來十圓の偽造紙幣が續々
現れ今日迄に數百圓に達す

◆農事講習終了 石城
郡平窪村に於ける縣主催農
事講習會は昨十五日午後三
時より常勝院にて終了式を

平窪村に於ける縣主催農
事講習會は昨十五日午後三
時より常勝院にて終了式を

軌道敷設 江名から平迄

石城郡江名町を起點とし豊
間、高久、飯野各村を経て平
町月見町に至るべきガソリ
ン自動車軌道の計劃あり高
久村大谷喜作氏外廿八名か
ら鐵道省に軌道敷設の特許
出願した

平町役場の 築敷地買収

平町會は十九日午前十時よ
り役場議事堂にて開會役場
新築敷地買収の件、區長選
舉の件、公有地使用許可の
件、

具体化した運動場 今日愈々寄附金分賦を

決定して直ちに募集を
の方法を講ずる由

愈々具體化した平町大運動
場設計計劃に關し本十六日
午後七時から大森青年團長
宅に大々關係者參集六萬圓
の寄附金割當に就いて協議
する筈であるが各方面から
既に寄附金の申込などもあ
る程であるから案外早く
實現を見るであらう而して
割當てが決定するや直ちに
各方面に向つて寄附金募集

農村状況 石城郡の統計

が夫れを示す
疲弊せる農村の救済策は全
國的問題となつて居るが
現在石城郡の農村状態を見
るに年々小作農の激減する
は勿論自作農は小作農に若
しくは自作兼小作農となる
傾向を生じ地主は小作者な
き田地を持て餘して困惑し
て居るものが少くない即ち
兩三年の統計を見るに十年
度の小作農三千四百七十七人

火の見櫓を 青年團が建設

平町舊城跡青年團にては杉
平三村氏邸東隣空地に火の
見櫓を建設した爲め十七日

平町舊城跡青年團にては杉
平三村氏邸東隣空地に火の
見櫓を建設した爲め十七日

平工業創立 土木請負が目的

現下最も有望な事業の一つ
は土木建築請負業である處
から斯業に經驗を有し信用
の最も篤い堀江工業株式會
社と合併するの條件の下に
資本金廿萬圓よりなる平工
業株式會社を設立せんと江

今日愈々寄附金分賦を 決定して直ちに募集を

の方法を講ずる由

口忠一氏が發起人となり株
式の募集中であるが配當は
年一割五分以上を確保し第
二回拂込を爲さる積りの由

常磐炭田に 労働組合組織

既報大日本労働同盟會は
常磐の炭田に對して相當の
活躍を試みて居たが足尾に
開催された坑夫聯盟大會に
際し密かに代表者某を石城
の炭礦に入り込み中央

中央と策應し 常磐炭田に

は十一年度に二千九百八十
六人となり更に十二年度
には二千八百五十一人に激
減し自作農は十年は五千三
百五十七人が十一年度に五
千三百七十七人となり十二
年には五千三百十人となり、
自作兼小作農は十年四千二
五人が十一年に四千五十二
人十二年に四千四百二十人
と漸次増加を示して居る

馬車軌道が泣く 小名濱泉間の 荷馬車大打撃

石城郡小名濱から泉驛に至
る七里の縣道には同方面か
ら東京其他各地に魚類を運
搬する磐城軌道あり更に
貸切貨物自動車も運轉して
居るので大打撃を蒙つた附
近四十餘名の荷馬車軌業者
は遂に飯の食ひ上げになる

石城郡小名濱から泉驛に至
る七里の縣道には同方面か
ら東京其他各地に魚類を運
搬する磐城軌道あり更に
貸切貨物自動車も運轉して
居るので大打撃を蒙つた附
近四十餘名の荷馬車軌業者
は遂に飯の食ひ上げになる

今日風の風は 夕刻に吹む

天気ながら身を切るやうな
寒い風は朝の内は南風だつ
たが間もなく北西に變つて
午前中の風速は十四米突を
算した小名濱測候所では夕
刻には吹むむじ多少の降雪
を見るかも知れぬと語つた

嬰兒を殺す 乳房で鼻口を 押し窒息死亡

石城郡赤井村小田炭礦坑夫
高橋助二郎妻スイ(三三)は本
をこつて顕微鏡下に覗へば
ボウフラの如き微細なる生
物がまざりと見らる、此
精蟲が健全である以上は男
子の側には不妊の責任は先
づないこととなる、婦人の
方の責任を解除するには嚴
密な研究を要する卵細胞の
發生有無は之を顕微鏡下に
捕らへることは容易でない
只順當に行はれる月經によ

父殺し狂人 檻から逃走し

昨年一月發作的に狂ふた果
て實父を殺した爲め監禁
中であつた安積郡片平村掛
田幸川(三)はおとなしく別
人のやうに檻の中に謹慎し
て居たところ去月十八日夜
監視人の隙をうかがつて逃
走し此程石城郡窪田村勿來
炭礦に坑夫稼業中を發見取
押へられた

眞面目な 問題

此の検査法
は比較的簡
單である、
何かの容器
の中に放出
された精液

平町人事

▲出生 吉田正平氏長男力夫
▲死亡 板倉好松(五七)
▲結婚 板倉好松(五七)
▲五丁目 大塚新吉(七〇)

悪水豫防協議 飯野内郷二ヶ村悪水豫防組 合にては本日午前十時から 平水道部にて開會、大正十 三年度豫算を附算議した

▲宮田三郎氏(いはらき新聞
平支局長)同社營業部長吉和口虎
雄氏が星製藥廠幹部に入社した爲
め其後任者として榮轉する事に違
つたが平支局に在勤中公共的に盡
力した貢献に報ゆべく近く盛んな
送別會を開く筈

▲大平新吉氏(元郡議)昨日
の好問村會にて村長に當選した
▲高岡唯一郎氏(元代議士)
玉山温泉にて病癒の療養中